

| | |
|--------|---|
| 研修名 | 第2回 精神障害者地域移行研修 |
| 講師等 | (1) 事例提供 テーマ：「クリニカルパスを用いた地域移行支援の実践」 ○講師：新門司病院 看護師 青木壽士氏 ○コーディネーター：西南女学院大学 准教授 今村浩司氏 (2) グループワーク |
| 開催日時 | 平成29年11月13日(月) 18:30~20:30 |
| 開催場所 | 北九州市総合保健福祉センター 2階講堂 |
| 参加者数 | 87名 ・精神科病院等の精神保健福祉士、看護師、作業療法士 等 ・相談支援事業所の相談支援専門員、サービス管理者 等 ・保健福祉関係の行政職員 等 |
| 研修の内容等 | <ul style="list-style-type: none"> 精神科病院の地域移行を図るため、医療機関、相談支援事業所、訪問看護ステーション、行政機関等の従事者を対象に、医療と福祉の連携をテーマとした研修を実施した。 「クリニカルパス」を用いて精神科病院から退院したケースの発表を通して、入院患者における地域移行の取り組みや課題等についての話題提供が行われた。 また、話題提供を受けて、医療機関、事業所、行政機関等によるグループワークを実施し、「精神障害者の地域移行」をテーマに現状や課題等について話し合うとともに、精神保健福祉士、作業療法士、看護師、保健師等の立場からの意見交換も行った。  |
| 参加者の声 | <ul style="list-style-type: none"> 病院の方から地域移行の取り組みについて話を聞くことができよかったです。 医療と福祉が連携を深めていけば、患者さんも生活しやすくなると感じました。 退院後を見据えた支援を行うといった視点はとても大切と感じました。 グループワークを通して、精神保健福祉士、作業療法士、看護師等、様々な職種の方々と意見交換でき、とても勉強になりました。とても有意義な時間でした。 それぞれの職種が他の職種のことを理解することは大切と思いました。 他機関との連携や意見交換ができる研修が継続的にあればありがたいと思います。 |